

渋谷区立広尾中学校【2023年度 未来の学校ビジョン】

●豊富な人材

- ・教職員
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールサポートスタッフ
- ・学習支援員
- ・家庭と子供の支援員
- ・巡回心理士
- ・心理実習生
- ・介助員
- ・部活動指導員、外部指導員
- ・PTA
- ・学校運営協議会
- ・地域学校協働活動推進員
- ・保護者OB・教職員OB

●適切な予算執行

- ・学校徴収金
- ・学校予算等

●特色ある授業と行事

- ・授業（シブヤ未来科含む）
- ・広尾Ship（中高連携）
- ・入学式、卒業式
- ・運動祭
- ・若木祭
- ・修学旅行、スキー教室
- ・各学年校外学習
- ・有志合唱
- ・職場体験

●整備されたICT環境

- ・タブレット一人一台端末（マイクロソフト・グループウェア、ベネッセ学習支援ソフト等）
- ・校内Wi-fi、校外LTE回線
- ・校務支援ソフトC4th

・デジタル・シティズンシップ教育によるデジタルコミュニケーションの推進とクオリティの高い授業。
・デジタルネイティブ世代を生きる生徒の資質向上

・言語活動を積極的に取り入れた、主体的・対話的で深い学びの実施。

・「シブヤ未来科」での地域や友達とのかかわり等をとおして自分自身のモラルの向上、多様性の理解及び郷土愛の育成。

・広尾Shipでの都立広尾高校生徒及び教員との連携、交流、接続。

・はーとふる面談による生徒の困り感の解消及び生徒の「良さ」を発見する支援活動。

・教育ダッシュボードを活用した組織的ないじめ問題への対応を行い、いじめや困り感のSOSを見逃さない、いじめをしない・させない・許さない風土の醸成。

・ICT機器を活用した家庭との連携 Home&Schoolによる文書配布と保護者からの欠席連絡。

・働き方のクリエイティブ化 TLDによる教師の学び、C4thによる勤務状況の数値化。

・生徒がICT機器を日常的に使用し、進学後や将来において直ちに活用できる。
・一人一台端末を有効活用して思考を可視化できるツールを使用し、他者の考えを尊重するとともに、「書く力」、「聞く力」、「話す力」を育てる。

・未来を生きる生徒たちに必要な力である「探究的な学び」、「協働する力」を育てる。
・都立広尾高校と連携したシブヤ未来科の実施。高校生による学習会の実施。

・多様な生徒の個性、能力、発達段階に応じた活動による共生社会の形成。
・学級、学年のリーダーの育成を図り、互いの「よさ」を伸ばし合う。
・セーフティ教室、SOSの出し方教室の実施。

・TLDでのICT機器活用研修。
・朝礼、集会等のオンライン活用。
・運動会、若木祭の内容精選等アフターコロナの実態に即した行事実施。
・出退勤管理によるライフ・ワーク・バランスの推進。

・ICT機器を日常的に使用し、「学びのツール」として活用できる能力の定着。
・言語活動の充実、「探究的な学び」による学習の定着。
・デジタル、アナログの長所を活かした教育環境のクリエイティブ化。
・豊かな心の醸成。
・コンプライアンスの徹底。

- デジタル技術を浸透させ、未来の自分に役立てる授業デザイン的设计。
- シブヤ未来科の授業はすべての生徒が生涯に渡るアクティブラーナー。
学びの変革（未来の学校の実現）
- 教育ダッシュボード活用による、いじめ、体罰（不適切な指導・暴言含む）、スクール・ハラスメントの根絶。
- 合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育。
安心・安全に挑戦できる環境
- Teamsは教員にとってもコミュニケーションツール（資料のデータ配信、連絡の効率化）、C4thによる勤務時間の一括管理。
校務DX（働き方改革）